

Motivated Mediated Cognition and Memory for Emotional Stimuli

メディア心理学の発展と法と心理学との接点

講演：アニー・ラング教授 (インディアナ大学ブルーミントン校)

Media Psychology -----> Eye Witness

日時：2010年7月7日(水) 18:15~20:00

場所：立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館2F 会議室3

<プログラム>

- 18:15~18:25 オープニング挨拶
講演者紹介 (立命館大学文学部 サトウタツヤ教授)
- 18:25~19:30 ラング教授講演
- 19:30~19:40 指定質問 (北海道大学学術研究員 栗田 聡子)
- 19:40~20:00 総合討論 (立命館大学博士研究員 山崎 優子)

アニー・ラング博士は、インディアナ大学テレコミュニケーション学科と認知科学プログラムの教授です。ウィスコンシン大学で博士号(マスコミュニケーション)を取得し、生理心理測定やその他の実験心理学の技法を用いたメディア研究の分野で現在第一人者として知られています。

「人々はどのようにメディアからの情報に影響を受けているか？」ラング教授は、この質問に答えるためには、全てのメディアとあらゆる種類のメッセージ(形式やジャンル、トピックなどを超えて)に適用できる理論が有効だと考え、LC4MPという理論を提唱しています。

今回はラング博士の初めての来日講演です。メディア心理学がどのように発展してきたかの話題を含め、LC4MPの重要な概念であるMotivated Cognition(動機づけられた認知)がどのように法と心理学、特に目撃証言などの記憶研究分野に有効であるかお話しいただきます。

参加費無料・予約不要

<お問い合わせ>

立命館大学 山崎 優子

Email: yamasaki@fc.ritsumeai.ac.jp

